

令和4年12月吉日

山形県理学療法士会各位

一般社団法人山形県理学療法士会  
会 長 岩井 章洋  
専門領域推進部理事 山本 洋介  
専門領域推進部理事 阿部 宣行

### 第3回専門領域推進部内部障がい領域症例検討会の発表者の募集について（ご案内）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、標記症例検討会を下記日程にて開催いたします。

聴講の申し込みは後日ご案内させていただきますが、先立ちまして発表者を募集いたします。内部障がいに  
関係する内容であれば詳細は問いません。日頃担当する患者様で全身状態に関して考えた事、解決へのプロセ  
ス、疾患特有の問題、多職種で検討・対応した事、相談したい事等も含めて、発表を通して情報共有する機会  
にしたいと考えております。

つきましては、奮ってご応募くださいますようご案内申し上げます。なお、応募多数の場合は選考とさせてい  
たいただきますのでご了承ください。 謹白

#### 記

1. 日 時：令和5年2月16日（木） 18：30～20：00
2. 形 式：オンライン開催（Zoom使用）
3. 内 容：内部障がい症例検討3例（予定）
4. 参加費：無料
5. 応募要件：当会会員（履修区分は問いません）  
後期研修履修中の発表者は、1症例あたり「後期研修E-31コマ」が取得できます。
6. 申込み：件名に「第3回内部障がい領域症例検討会発表者応募」と記載し、①氏名、②所属、  
③メールアドレス、④症例概要（数行程度）を明記の上、1月10日（火）までに  
「pt.naibu.yamagata@gmail.com」へお申込みください。
7. 症例概要の記載例：  
例1）膀胱癌からの骨転移で対麻痺を生じた症例：  
骨転移の情報共有のもと食事や更衣動作の評価を行い、家庭での移乗方法や排泄時の工夫等について介入した。職種間で情報共有し、介護保険でのサポートについて提案を行った。  
例2）間質性肺炎増悪で看取り期まで介入を続けた症例：  
何度目かの再入院で全身状態の悪化が著明となりBSC(best supportive care)となった。看取り期でのニーズの捉え方や臨床での思考や判断について反省を交え検討したい。

【問い合わせ】日本海総合病院 理学療法士 本間 豪  
TEL: 0234-26-2001 FAX: 0234-26-5114  
Email: rh-honma@nihonkai-hos.jp